

【財団法人子規庵保存会設立90周年記念】

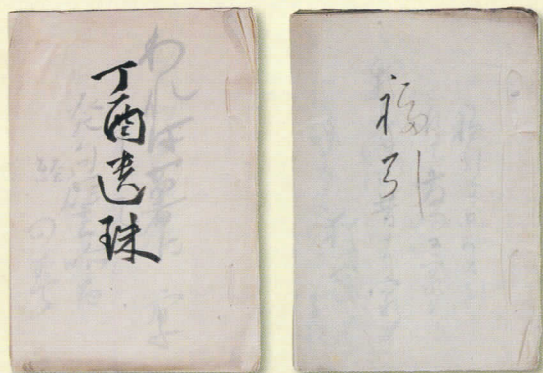
# 子規遺墨 遺品展



曼陀羅

## 子規の歳旦2 — 福引 —

明治30年正月に子規庵の賀客に用意された歳旦帳。子規の新出句を始めとする、虚子、碧梧桐等との賑やかな正月の様子がわかる貴重な句集を初公開いたします。



## 第18回特別展 平成30年9月1日(土)～9月30日(日)

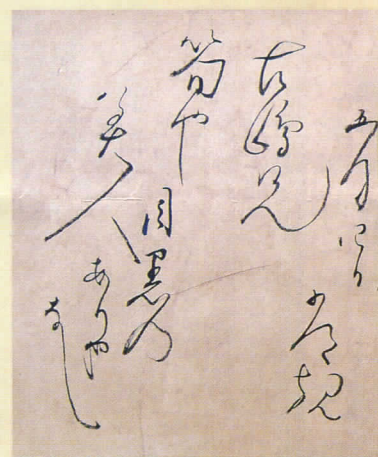
- 【展示資料】 ・明治30年自筆稿「丁酉遺珠」「福引」  
・明治35年子規書簡  
・『墨汁一滴』原稿  
・子規遺品
- 【翻字・解説】 ・復本一郎（神奈川大学名誉教授・国文学者）

- 休庵日 3日(月)、10日(月)、18日(火)、25日(火)
- 入庵料 500円
- 開庵時間 10:30～16:00
- 場所 〒110-0003 東京都台東区根岸2-5-11
- 電話 03-3876-8218
- URL <http://www.shikian.or.jp>
- 主催 一般財団法人子規庵保存会
- 協力 根岸三平堂・根岸小学校PTA・子規庵友の会  
子規庵宇宙の会・根岸子規会・根岸の里青年団・地元有志  
鯉ヶ沢高校同窓会東京支部・笹乃雪・竹隆庵岡埜・花ふじ  
カフェド花家・株式会社フォレスト
- 協賛開催 9月1日～9月30日 根岸三平堂と入場料相互割引  
(他館の入場券を提示することで団体割引料金を適用します)



根岸  
子規庵

糸瓜忌  
へちま忌



## 笥や目黒の美人 ありやなし

明治35年の新聞日本の同僚古島一雄宛ての書簡。子規没後に印刷物として公表はされましたが、原本の行方はその後不明でした。百十六年目に出現した幻の書簡を初公開いたします。

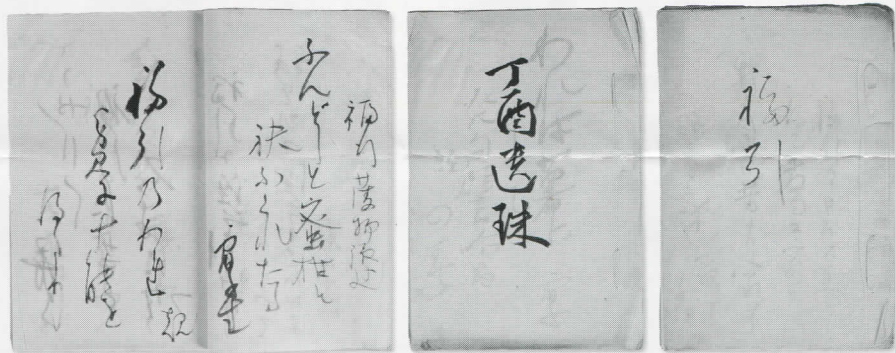


# 財団法人子規庵保存会設立 90 周年

財団法人子規庵保存会は、昭和3年7月18日に子規妹の正岡律を初代会長として設立認可されました。会員は河東秉五郎（碧梧桐）、高濱清（虚子）、寒川陽光（鼠骨）、五百木良三（瓢亭）香取秀治郎（秀眞）、佐藤安之助（肋骨）、中村銈太郎（不折）でした。

昭和20年の戦火による子規庵焼失と再建を経て、現在は保存会設立者達の遺志を継ぐボランティアにより、公開事業と子規庵維持保存事業を続けています。

## 【特別展示1】「子規の歳旦 2 —福引—」



明治30年から始まったとされる子規庵の正月行事「歳旦帳」。数年前より子規庵に寄託された資料の調査を進めて参りました。「丁酉遺珠」と題された歳旦帳は、子規新出句を始めとして、子規と弟子たちが福引遊びに興じる賑やかな子規庵の正月が感じられる句集です。

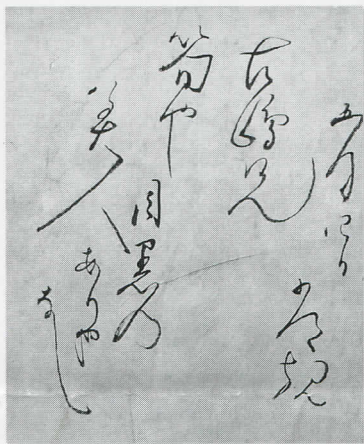
本展示では、子規庵保存会設立90周年を記念して、今までその所在と全容が明らかにされていなかった「明治30年歳旦帳」2冊を初公開いたします。

## 【特別展示2】「筍や目黒の美人ありやなし」

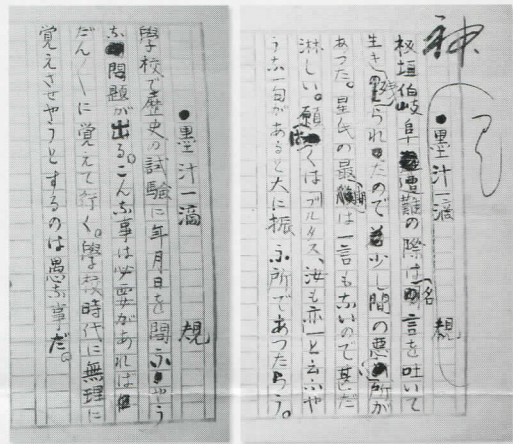
子規生誕150年の昨年、子規庵に寄贈された貴重な資料を、ご寄贈者に心から感謝の意を表し、特別展示をいたします。

【子規書簡の句】明治35年5月4日、新聞「日本」の同僚である古島一雄宛に子規が送った書簡の文末「筍や目黒の美人ありやなし」の句。子規と古島一雄の親交の深さを感じられる書簡を初展示いたします。

【墨汁一滴】律代筆原稿 子規の妹律は、献身的な看護人のみがクローズアップされてきましたが、一所懸命に子規の創作活動を支えようとした律の思いが込められた生原稿を初展示いたします。



子規書簡の句



「墨汁一滴」律代筆原稿

## 【子規遺品展】

病牀の子規遺品から  
曼陀羅他を特別展示いたします。



## 子規庵までの地図

